

教員の採用から退職まで、誰もが「働きやすさ」と「働きがい」を実感しながら自己実現できる職場環境を整えることで、教員一人ひとりが、いきいきと子どもたちに向き合い、それぞれの熱意と専門性を発揮して、すべての子どもたちへのより良い教育の実現をめざします。

その実現に向けて、これまでの取組を継続・発展させるとともに、教員一人ひとりの働きがいを高めるための新たな取組を進め、教職の魅力向上させる総合的な取組を推進していきます。

解消すべき課題

長時間勤務

着実に減少しているものの、校種別では中学校、職種別においては教頭が依然として多い  
(R6：中学校 37:31、教頭 48:04)

(t単位：時間)	H30①	R6②	②-①
全校種	36:28	28:13	▲8:15

人材確保

5年連続で教員採用テストの受験者が減少するとともに、競争倍率も低下傾向

(人) 受験者数 (採用年度)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
受験者数	2,632	2,632	2,632	2,632	2,632	1,909

休職者率

精神疾患による休職者割合が高止まり

離職者数

普通退職者数が増加傾向

(単位)	R4	R5	R6
休職者割合(%)	1.39	1.11	1.06
普通退職者(人)	243	294	290



多様な教員がいきいきと働く学校園

やりがい

子どもたちの成長や変化に毎日立ち会えることが、私の大きなやりがいです。一人ひとりと向き合いながら、未来につながる力を育てている実感があり、「教員になってよかった」と、心から思っています。

キャリア

自己実現

安心感・貢献感

ワークライフバランス

協力関係

処遇への満足感

チームとしての組織力向上

すべての子どもたちへのより良い教育の実現

